

新練馬光が丘病院の概要について

1 病床の4つの機能区分

病院にはそれぞれ専門分野があり、患者の容体に応じて連携して治療をおこなっている。新病院では、高度急性期・急性期・回復期の機能を担う。

高度急性期機能	急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能
急性期機能	急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
回復期機能	急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療や、リハビリテーションを提供する機能
慢性期機能	長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能

東京都保健医療計画（平成30年3月改定）東京都福祉保健局 資料編

2 現病院と新病院との設備等比較

医療機能等	現病院	新病院	備考
病床数	342床	457床	
一般病棟	342床	357床	
ICU・CCU	6床	14床	
HCU	0床	16床	新設
小児個室	0床	8床	新設
産婦人科病棟	19床	30床	
陰圧室（個室）	0室	5室	新設
回復期リハビリテーション病棟	0床	50床	新設
地域包括ケア病棟	0床	50床	新設
分娩室	2室	4室	
救急初療室	4室	6室	
診療ブース（ウォークイン）	3室	6室	
観察ベッド	6ベッド	8ベッド	
手術室	5室	8室	1室はハイリフト
血管造影室	1室	3室	
内視鏡ブース	4室	6室	
透析	15エット	30エット	
化学療法	8エット	22エット	

3 院内配置図

新練馬光が丘病院 院内配置図			
7階	【病棟】 地域包括ケア病棟 50床(新設) 一般病棟(西) 46床		
6階	【病棟】 一般病棟(東) 45床 一般病棟(西) 46床		
5階	【病棟】 一般病棟(東) 45床 一般病棟(西) 46床		
4階	【病棟】 産婦人科病棟30床、回復期リハビリテーション病棟50床(新設) 小児病棟23床(新生児治療室含む。個室病床(8室)新設)	【医療設備】 LDR4室(3室増) リハビリ室(拡張)	
3階	【救急医療】 ICU・CCU14床(8床増) HCU16床(新設)、手術室8室(3室増)	【医療設備】 血管造影室3室 (2室増)	【病棟】 循環器病棟 46床
2階	【外来】 小児科、皮膚科、眼科、泌尿器科、精神科、糖尿内科、耳鼻科、産婦人科、歯科口腔外科(新設)	【医療設備】 化学療法室22㎡(14㎡増) 透析室30㎡(15㎡増)	
1階	【外来】 呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、神経内科、脳外科、整形外科、循環器内科、内科	【医療設備】 救急治療室(拡張)、放射線治療室 放射線診断室(MRI、CT等)	【その他施設】 院内保育所 カフェ 売店

新練馬光が丘病院
院内配置図

病床数：457床
(115床増床)

4 新規・拡張機能について

【新規】	【拡張】
回復期病棟の新設 歯科・口腔外科の新設 リニアック（放射線治療装置）の導入 免震装置の整備 酸素供給装置（待合室の壁等）の設置 コジェネレーションシステムの導入 井戸水を活用した給水設備の整備	防災倉庫の拡張 形成外科の入院対応 既存の治療室等の拡張 （救急治療室・リハビリテーション室等） 駐車場の拡張

ICU：重篤な患者に対し、医師や看護師が24時間体制で高度な医療・看護を行うことを目的とした施設
CCU：心臓疾患の患者を専門的に治療する施設。急変に備え、緊急手術等にすぐに対応する体制を整えている
HCU：ICUと一般病棟の中間に位置し、ICUよりもやや重篤度の低い患者を受け入れる治療施設